

教育課程連携協議会 2023 年度活動報告

2023 年度教育課程連携協議会は、第 1 回が 2023 年 9 月 4 日(月)、第 2 回が 2023 年 2 月 5 日(月)、両日とも Zoom によるウェブ形式で開催した。ついては、本協議会の内容等を以下のとおり報告する。

1. 第 1 回 教育課程連携協議会

1) 審議事項

(1) 授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項

・大学設置認可時の附帯事項として、授業科目開講時まで専任教員の配置、定年規程の遵守を履行するにあたり、作業療法学科の教員に担当授業科目を追加するため、文部科学省へ AC 教員審査を申請することを説明し、承認された。

(2) 授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

・新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い、予定していた臨地実務実習を学外の実習地にて実施した。今後の課題として、臨床の場を意識した学内実習の方法、実習地の継続した確保等を説明し、承認された。

2) 報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症対策等

・本学では、感染対策として、ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用等を指導している。7 月下旬より気温が上昇したため、感染症対策に加え、熱中症対策として、教室の窓を閉めた状態で、廊下各所に大型サーキュレーターを設置した。

(2) 2023 年度新入生保護者会

・2023 年度より、入学式終了後に新入生保護者会を実施し、本学の教育理念、教育内容、学生支援体制、所属学科の特徴を説明した。欠席した保護者には、保護者会実施後に動画を配信した。

(3) キャリア支援

・キャリア支援室では、学生に就職活動のフローを周知している。学生は、入力フォームにより採用面接等の就職活動を報告するが、キャリア支援室は、その状況をクラス担任や学修アドバイザーと共有し、支援する体制を整備した。また、8 月 30 日・31 日に就職説明会を実施したが、臨床実習施設等 78 施設が参加し、学生が熱心に説明を受けた。

(4) 第 4 回学術大会

・2023 年 12 月 3 日(日)に「理論と実践」を重視した教育・研究～地域・産学連携に向けて～をテーマとして、第 4 回学術大会を開催する。午前の部は、大会長講演と指定演題の講演、午後の部は、研究発表会(口頭発表)を予定している。

2. 第 2 回教育課程連携協議会

1) 審議事項

(1) 授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項

・本学は、完成年度を迎え、9 月 1 日に大学設置分科会実地調査、12 月 14 日に学校法人分科会実地調査を受審し、本年度をもってアフターケアを終了する予定である。2023 年度の教員人事体制は、現学長 陶山哲夫、専任教員 54 名である。2024 年度の教員人事体制は、学長の任期、定年教員の退職等により、新学長 飛松好子、専任教員 47 名になることを説明し、承認された。

(2) 授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

・2024 年度の教育課程は、卒業要件 145 単位であるが、4 年次に 18 週間の臨床実習に加え、卒業論文、就職活動、国家試験等、学事が集中している。教務委員会カリキュラム検討部会では、教育課程の見直しを計画しており、2025 年

度の教育課程は、卒業要件 131 単位程度を目標としている。なお、3 ポリシーは変更せず、基礎科目に初年次教育と導入教育を配置、職業専門科目にパラスポーツと e スポーツの科目を配置、実習時間の見直しと実習時期の最適化を検討することを説明した。

・構成員より以下の意見があり、教育課程の内容を検討していくこととした。

① 作業療法では、e スポーツが広まっております、学生に有効であるので、是非進めていただきたい。認知症では、作業療法の考え方が期待されているので、作業療法の理論や実践に基づいた認知症のアプローチを取り入れていただきたい。

② 施設では、訪問リハビリテーションを取り入れている。学生には障害者とのコミュニケーションの取り方を経験するといいいのではないか。

2) 報告事項

(1) 地域貢献活動

・2023 年度の地域貢献活動の状況は、以下のとおりである。

① 江東区認知症カフェ

・江東区では、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができる地域づくりを目指し、認知症の方とその家族、地域住民の誰もが気軽に参加し集える活動拠点となる認知症カフェを設置している。本学では、「塩浜ペンギンカフェ」と称し、6 回実施した。

② 江東区アダプトプログラム

・江東区アダプトプログラムは、区民等で組織された団体が、区道、区立公園等の一定の区域を養子に見立て、里親が我が子を想うような愛情を持って定期的に清掃する、ボランティア活動である。本学では、東陽町～大学～木場間の校外の清掃活動をクラスごとに 12 回実施した。

③ 江東区体力測定会

・江東区では、介護予防や活動的な生活のき

っかけになるよう、体側測定会を実施している。本学では、長寿サポートセンターで実施した体力測定会に教員が参加し、5 回実施した。

④ 江東区インターンシップ

・障害のある方とその家族、地域住民の方々との交流の場として、江東区障害者福祉大会を開催し、優良勤労者の表彰、障害者の方々による歌やダンス等の発表、芸能アトラクションの催しを行っている。本学では第 41 回江東区障害者福祉大会にインターンシップとして参加した。

⑤ 夏休み子ども科学教室

・幼稚園・小学生を対象に「電子顕微鏡でミクロの世界体験」を 4 回開催した。

⑥ 学生のボランティア活動

・5 月は東京都障害者福祉大会、彩の国ふれあいピック春季大会、8 月は江東区ボランティアセンター主催の夏体験ボランティア、9 月は高齢者へのスマートフォン教室、10 月は赤い羽根共同募金の活動、新宿区あゆみの家「第 44 回あゆみ祭り」、11 月は江東区障害者福祉センター「ふく福祭り」、1 月は江東区社会福祉協議会の協力により、能登半島地震災害義援金募金のボランティア活動を実施した。

⑦ 出前講義

・リハビリ職の職業理解と本学の広報活動の一環として、小学校や高等学校等で出前講義を述べ 21 回実施した。

(文責：小杉泰輔)